

令和5年度 ひやくまん穀栽培ごよみ

◇ ひやくまん穀の特性 (母: 北陸211号 × 父: 能登ひかり)

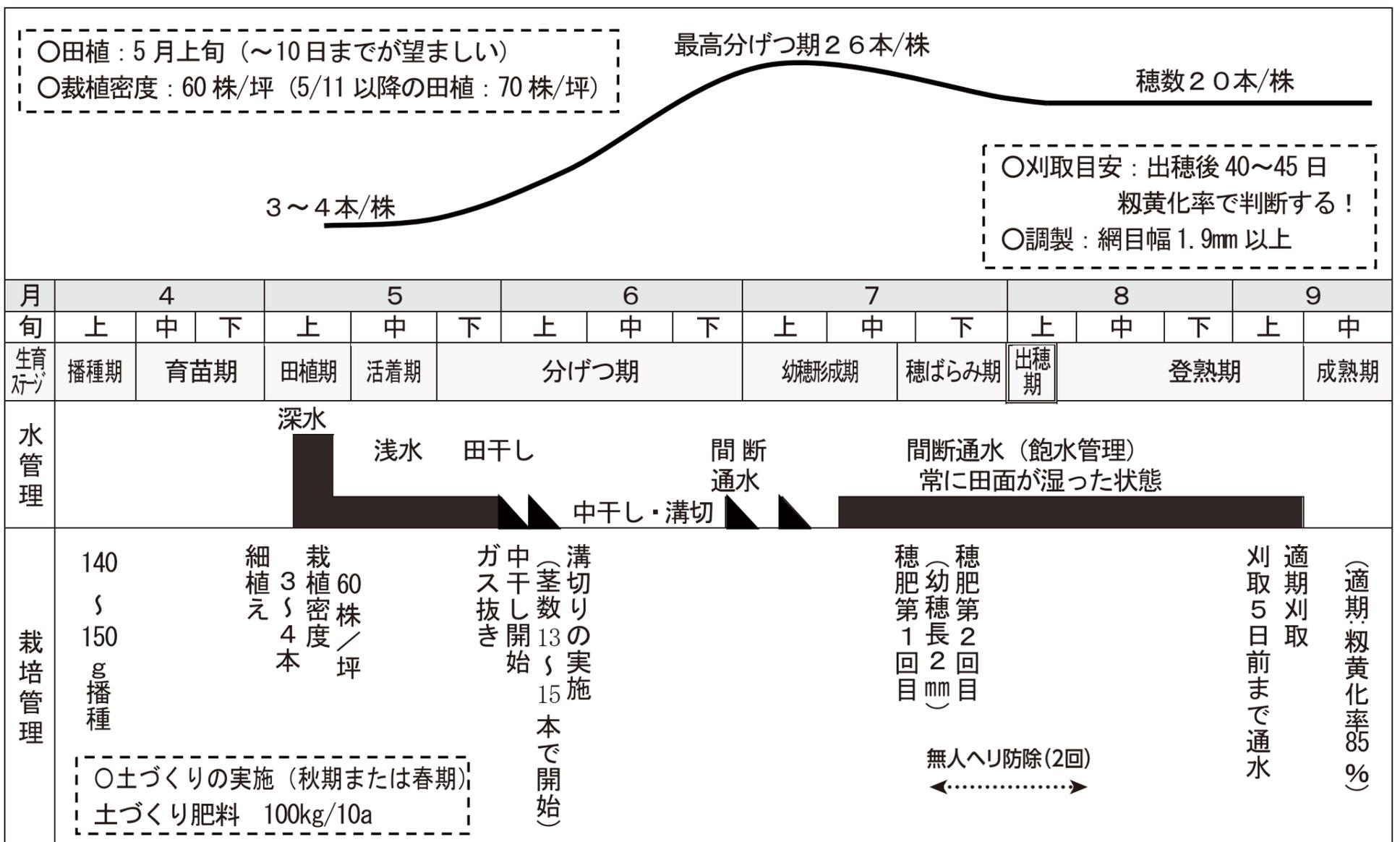
- ・晩生の穂重型品種、玄米は大粒、多収性に優れる。外観品質、食味はコシヒカリ並とされる。
- ・やや長稈であるものの稈質はやや強く、耐倒伏性はコシヒカリよりも強い。

系統名	項目	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g)	収量 (kg/10a)
ひやくまん穀		8月 7日	9月 17日	91	20.1	360	26.3	700
コシヒカリ		7月 29日	9月 3日	93	17.9	380	22.5	530

◇ 収量構成要素

地帯	植付株数 (株/坪)	株当たり穂数 (本/株)	1穂粒数 (粒/穂)	m ² 当たり粒数 (粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
平坦部	60	20	86	31,000	86	26.3

◇ 生育経過



◇ 施肥基準 ~ 窒素成分で地域慣行コシヒカリ + 3kg/10a ~

< 基肥一発施肥 >

田植え時期	肥料名	施肥量 (kg/10a)		
		平坦地	低地力田	高地力田
普通期移植 (~5/10)	ひやくまん穀一発くん NEO T	35	40	30

< 分施肥系 >

基肥	肥料名	施肥量 (kg/10a)		
		平坦地	低地力田	高地力田
	BB056号	35	40	30

穂肥	肥料名	区分	施肥量 (kg/10a)		
			平坦地	低地力田	高地力田
優米味 R		1回目	14	16	12
		2回目	21	24	19
有機入りいしかわ穂肥一発 055		1回目	30	32	27